



Title	癌と人 第15号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 1988, 15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24045
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

第15号 目 次

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会
理事長 川 勝 傳
(南海電気鉄道株式会社取締役会長)



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

- ごあいさつ 1
川 勝 傳
- 集団検診に思う 3
田 口 鐵 男
- 動物実験への理解と協力を 6
川 俣 順 一
- 外科学の進歩と消化器癌の治療 9
近 藤 達 平
- 癌と免疫療法 11
藤 井 源 七 郎
- 完壁に近づいた大腸癌集検 15
藤 田 昌 英
- 癌治療の新しい試み 21
木 本 安 彦
- 女性ホルモンと子宮体癌 23
加 納 英 男
- 老人健法と乳がん集団検診 26
堀 野 俊 男
- 財団法人大阪癌研究会寄附行為 29
- 本会役員・評議員・賛助会員名簿 32
- 昭和62年度寄附者御芳名 36
- 集団検診（乳がん、便潜血反応検査による大腸がん）のお知らせ 36